

# 柔整青森

第44号 2023



贈  
三十六年賞

FUJITSU

DHC

龍

おき屋

公益社団法人 青森県柔道整復師会



## 【表紙説明】

### ●青森ねぶた祭り●



ねぶた祭りの大きな山車に刀を持った人がいるのは、病魔を払う効果が、ぴょんぴょん飛び跳ねながら踊るのは病気をはねのける効果があるとされていて、夜に祭りをする事で祖先達がいるとされる星々を祀るという意味があり、今に至ります。

青森ねぶた祭りに込められた願いは、遥か昔の七夕に厄除けや先祖の魂を祀る、一種の神事として行われていたところから始まります。

元々中国にあった七夕まつりと、日本にあった精霊流しが同時に行われ、無病息災を祈っていました。

そのため現在の青森ねぶた祭りでも様々な願いが込められ、人々の無病息災や先祖への感謝などから、山車にねぶたを乗せて、街中を練り歩き、病魔退散を願って通り過ぎていきます。

目 次 柔整青森

◆巻頭言	会長	三潟 謙	3
◆経理部長就任のご挨拶	副会長・経理部長	竹原 愛人	4
◆副会長・柔道部長就任のご挨拶	副会長・柔道部長	成田 正人	4
◆総務部長就任のご挨拶	理事・総務部長	苫米地一弘	5
◆理事として	理事	谷川 弘	6
◆保険部長としての心構え	理事・保険部長	種市 清孝	7
◆理事・広報部長として	理事・広報部長	吉田 功	7
◆理事就任の挨拶	理事	安井 巧	8
◆監事に就任して	監事	葛西 清	8
◆監事に就任して	監事	滝澤林太郎	9
◆青森地区会長に就任して	地区会長	奈良 功	9
◆弘前地区会長に就任して	地区会長	池田 潤一	9
◆八戸地区会長として	地区会長	滝澤林太郎	10
◆十和田地区会長に就任して	地区会長	佐藤 秀樹	10
◆五所川原地区会長 就任の挨拶	地区会長	佐々木智彦	11
◆地区会長として東北学術大会に参加して	地区会長	三浦 岳人	11
◆三沢地区会長就任挨拶	地区会長	山端 祐樹	12
◆黒石地区会長としての6年	地区会長	西谷 正仁	13
◆常置機関及び職務分担			14

県 事 業

令和5年度 公益社団法人青森県柔道整復師会通常総会	総務部	竹原 愛人	15
今年度青森県表彰対象者の紹介			15
令和4年度保険事務研修会		吉田 功	18
青森県社会福祉協議会への寄付金贈呈式の報告	総務部	苫米地一弘	19
第25回公益社団法人青森県柔道整復師会チャリティゴルフ大会		竹原 愛人	20
令和5年度「柔整塾」	事業推進委員長	吉田 功	21
令和5年度 チャリティーボウリング大会	事業推進委員長	吉田 功	22
第26回チャリティゴルフ大会		竹原 愛人	23

東北ブロック会

東北ブロック大会の様子			24
第35回記念大会 青森県柔道整復師会少年柔道・形競技大会			
兼 東北ブロック大会・全国大会予選会	柔道部長	種市 清孝	24
第29回東北少年柔道大会			
第10回東北少年柔道形競技会	柔道部員	工藤 渉	27
公益社団法人日本柔道整復師会第42回東北学術大会青森大会			
懇親会の様子			28
東北ブロック会学術大会・青森大会	学術部長	谷川 弘	28
ブロック大会学術発表を終えて	十和田地区	田中 松雄	29
東北ブロック学術大会・青森大会での学術発表を終えて			
	八戸地区	新井田一吏	29
公益社団法人日本柔道整復師会第42回東北学術大会青森大会の様子			30

東北ブロック会青森大会についての報告	総務部長	苫米地一弘	32
日整ワークショップについて		高橋 尚裕	33
特別講演			
「運動器超音波診療の新時代：現状と最新の整形外科診療についての動向」を拝聴して		安井 巧	34
<b>日 整</b>			
第31回日整全国少年柔道大会	柔道部長	種市 清孝	35
<b>各地区活動</b>			
青森地区			
令和4年度 保険業務勉強会	青森地区	奈良 功	36
弘前地区			
公益活動「あなたの街の整骨院・接骨院」	弘前地区	池田 潤一	37
八戸地区			
八戸地区清掃活動報告	八戸地区	吉田 圭悟	38
十和田地区			
十和田地区活動報告	十和田地区	櫻田 陽輔	39
五所川原地区			
保険事務研修会	五所川原地区	葛西 清	40
五所川原地区公益事業について	五所川原地区	佐々木智彦	40
むつ地区			
令和4年度むつ地区保険業務勉強会	むつ地区	三浦 岳人	42
三沢地区			
第1回「Re:bone」Web会議(日本柔道整復師会主催)に出席して			
	三沢地区	山端 祐樹	43
「ほねつぎの日 市民公開講座 健康祭(三沢市)」開催報告			
	実行委員	坂本 篤志	43
黒石地区			
「令和4年 黒石市健康づくり市民のつどい」参加報告			
	黒石地区	西谷 正仁	45
<b>応急・救護トレーナー活動</b>			
「応急・救護トレーナー活動」派遣一覧			46
応急・救護トレーナー活動の様子			47
応急・救護トレーナー活動者募集／派遣制度ご利用案内			48
<b>健康だより</b>			
やってみよう!!「健康柔(やわら)体操2018」			
～健康はつくと共に保つもの。やってみましょう健康柔体操～			50
<b>新入会員紹介</b>			
新入会員の抱負	八戸地区	美美接骨院	柳瀬 大伸 56
	八戸地区	ぬまだて中央接骨院	中村 忍 56
	三沢地区	柳瀬接骨院	柳瀬 隆興 56



## 巻頭言



公益社団法人 青森県柔道整復師会  
会長 三 瀧 謙

令和5年5月に開催された総会で会長に就任した三瀧です。柔整青森第44号発行にあたり謹んでご挨拶申し上げます。まずは常日頃より当会事業並びに運営に対してご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

また9月2、3日に開催された本県主管の東北ブロック会の少年柔道大会並びに形競技会、日整東北学術大会青森大会も無事に開催することが出来ました。大会はここ3年ほど新型コロナウイルスの為に、会員・少年ともに柔道大会の中止、配信による学術発表、懇親会開催を断念と変則的な形で行われておりましたが、今大会からは会員の柔道大会以外はほぼ元通りで開催することになりました。久しぶりのフル開催でしたので新米会長は心配しましたが、無事に終わってほっとしています。ご協力下さった青森県柔道連盟、弘前大学柔道部、また準備に奔走した役員・会員、事務局、すべての方に深く感謝申し上げます。

またコロナ後、当会の事業も次々と再開しています。昨年11月の保険事務研修会、総会、連盟懇親会、チャリティーボウリング大会、チャリティーゴルフ大会等。しかし少し困ったことがあります。参加人数の大幅減です。特に総会の出席者が非常に少なかったのです。多分書面票決に慣れてしまったのだと思いますが、次回からは是非多くの皆様の会場への出席をお願い致します。

仕事に関しては、マイナンバーカード保険証への対応が直近の課題です。予定では来年の秋から始まりますが、カード認証にPCやタブレットが必要なのか、またWi-Fiの環境が必ず必要なのか、まだ厚労省から正式に公表されておられません。内容がはっきりしたらしっかりと対応したいと考えております。

今後、業界の環境を少しでも良い方向へ変えていかなければなりません。非力ながら日整の新執行部の下で汗をかかせていただければと思います。

今年の夏はコロナと猛暑で体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか？皆さん、お互いに健康に気を付けて厳しい柔整業界の荒波を乗り切っていきましょう。



## 経理部長就任のご挨拶

副会長・経理部長 竹原 愛人

この度、経理部長に就任させて頂きました。定款施行細則には

- 収支に関する全般的な事項
- 会員の互助に関する事項
- その他経理全般に関する事項

と記載されてありますが、大変な職務と感じています。特に業界が厳しい状況が続き予算を組み、事業を行う中で公益法人として適正に運営していかなければなりません。コロナも5月から第5類に移行引き下げられ、これからという時に夏の猛暑そして物価高騰と私達の仕事と生活に重くのしかかっています。この苦しい中、会員から色々な相談問い合わせがあると思います。そこで簡単に駄目だ無理だと思わず、まず考える、動くそれでも駄目だったら仕方がない、でもその行動は決して無駄にはならないと思っています。その為には、事業定款等の見直しも必要になってくると思います。その際には諸先輩方のご指導ご鞭撻を賜りながら、推進していきたいと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。



## 副会長・柔道部長就任のご挨拶

副会長・柔道部長 成田 正人

5月27日の通常総会で、役員改選選挙でしたが、定数以内でしたので出席正会員の過半数の挙手を以て、選任され、会長指名により、副会長を拝命することになりました。

三鴻会長を補佐し、役員と一体となって、会員数の減少、患者照会の問題、医科との併給問題等、まだまだ大変厳しい現況の我が業界ですが、日整の役員に相談したり、要望して、少しでも改善していきたいと思っております。

7年ぶりに再び柔道部長も兼任する事になり、地元開催された東北ブロック柔道大会も、皆様のご協力のお陰で無事に終わる事が出来ました。そして、少年柔道大会では八戸柔道少年団、形競技では藤崎柔道少年団がそれぞれ地元が優勝してくれました。

副会長は、まだまだ未熟ですが、至らぬ点がありましたらぜひご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。





## 総務部長就任のご挨拶

理事・総務部長 苦米地 一 弘

令和5年5月の総会においては公益社団法人青森県柔道整復師会理事に承認いただきありがとうございました。これもひとえに皆様の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。その後の理事会、組織会では総務部長という大変責任ある役割を拝命し、果たしてこれは私に務まるのかという思いもあります。しかしお受けしたからには会長、副会長、各部長、理事、事務局と連携をとり、各事業をスムーズに推進して参りたいと思います。

理事として2年間、務めさせていただき、会員の減少、高齢化、減収、保険業務問題。本会の減収、収支のバランス、事務の仕事量など課題山積と感じています。これらを一気に解決する事はできませんが、未来の青森県柔道整復師会のために課題に真摯に向き合い、やれることを一つずつ解決していくしかないと思います。

現時点では青森県武道館柔道、アートホテル弘前シティにおいて行われた東北ブロック青森大会が無事終了しました。これからも事業は続きますが、令和6年秋に現行健康保険証の廃止、マイナンバーカード保険証への切り替えがあります。詳細が決まり次第、研修会などを行い、本会会員が一人も乗り遅れる事がないように対応したいと思います。

私のできる範囲で自分らしく務めて参りますので、今後ともご支援並びにご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



## 理事として

理事 谷川 弘

令和5年5月27日当会通常総会の役員改選において、理事職に選任されました。

4期目の理事職に突入致しましたが、新型コロナウイルス感染症は流行性インフルエンザ感染症と同等の第5類扱いになり、巷ではマスクをせずに行動する者など流行前の状態に戻りつつあることで再び感染者が増加傾向にあることは楽観視できない。

更にロシアのウクライナ侵略戦争の長期化により世界経済は不安定になり、追い打ちを掛けるように地球温暖化から農業・漁業の不振で物価高騰に国民生活は逼迫を強いられる中、医療業界の一端を担う柔道整復師も氷河期と言われるくらいに厳しい状況にある。

この厳しい状況を耐え忍ぶ打開策として、日整が推奨する「超音波観察装置=エコー」の導入である。若手整形外科医師も「レントゲンはもう撮らない。エコーの時代」と言わしめているくらいです。患者さんの損傷した組織を眼で見て、説明を耳で聴いて納得して頂く最高のツールになります。患者さんは、ちょっとした痛みでも病院でレントゲン検査で異常がないか神経質なまで気にします。そんな患者さんを柔道整復師がエコー検査で患者さんに納得して頂き、通院して貰う信頼関係を築くことが急務です。

日整が「匠の技・伝承プロジェクト」超音波観察装置&整復・固定を業界生き残り策として会員に広め、柔整学校でも必修（取得単位）科目としている。

青森県出身の県外で開業する柔道整復師は非常に多い。成り行きと弾みで開業された方もいることと思いますが、一番は人口減少の故郷で開業しても将来的に不安が大きいという理由が占める。当会会員の高齢化と減少は健康保険取り扱いの厳格化と地方の低経済力によるが、次世代の若い柔道整復師が青森県民の健康という財産を守れるようにバトタッチするために当会の先生が「学術」で武装することで王道を突き進んで行くように理事として学術部長として働きかけたいと思います。ご協力のほどよろしく願いいたします。





## 保険部長としての心構え

理事・保険部長 種市 清孝

この度、組織会において保険部長を拝命しました。

保険部長として何をすべきか、何ができるのかを自問しました。

平成30年に亜急性の文言が支給基準から消え、支給対象となるのは「外傷性が明らかな骨折、脱臼、打撲及び…」とあります。ではこれまでの亜急性外傷は対象外でしょうか？それは違います。今まで通り急性に準ずるものは支給対象です。

ただ損傷について十分に患者に説明し、治療根拠を示し施術を行っていくことが重要だと思います。

現在、患者照会により受診抑制されてることは否定はできませんが、逆に十分に説明をし適正に運用していることをアピールできるチャンスかも知れません。

まだまだ保険部長としての知識は不十分ですが、会員の力になれるよう今後も努力を重ねます。今後とも宜しくお願い致します。



## 理事・広報部長として

理事・広報部長 吉田 功

この度、令和5年度通常総会の役員改選に於いて会員の皆様から温かいご支援を賜り心より感謝申し上げます。

理事2期目となり、広報部長・事業推進委員長を拝命いたしました。本年度5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に位置づけられ、各地にてお祭り、各種イベント等開催されております。当会も通常通り事業を行い、東北ブロック学術大会は主管県として理事者一丸となって頑張りたいと思います。まだまだ勉強不足ではありますが、会員の皆様と共に飛躍できるように努めますので宜しくお願い致します。



## 理事就任の挨拶

理事 安井 巧

去る5月27日開催の通常総会、役員改選において理事に就任させて頂きました。まずは、選任を頂きました事に感謝申し上げます。有難うございました。

就任後数か月が経過しようとしていますが、いまだ緊張の日々です。そして何より、9月2日・3日、東北学術大会青森大会、東北少年柔道大会・形競技会が行われ、大きなトラブルもなく無事に大会を終える事ができました。私が就任する何年も前から準備を行ってきた先輩理事の先生方と事務局の方々、会員の皆様の努力によるものだと頭が下がる思いです。

「まずは与えられた仕事を一生懸命に」今の私の目標です。これからも至らない点が多々あると思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 監事に就任して

監事 葛西 清

この度の通常総会の役員改選におきまして、たくさんの先生方のご支援をいただきましてありがとうございます。

田中先生の後任となり、滝澤先生と役員理事の皆さんの指導を受けながら、任務を頑張ります。コロナ感染も少しは落ち着いてきましたが、まだ我々業界には厳しい風が吹いております。少子化に伴う学校などでのスポーツ活動の変化、高齢化による医療、介護の変化など、著しい対応に迫られています。その中で会の運営もいろいろな影響下での、対応も余儀なくされています。会長理事役員に新たなメンバーを加え、今年度は事業に東北学術大会も入り、春から大忙しの様子です。これからも会の運営が適切にスムーズに行われるように、監事として務めさせていただきます。よろしくお願い致します。





## 監事に就任して

監事 滝澤 林太郎

本年度の通常総会で、再度監事に就任する事となり皆様には大変感謝致しております。1期目はベテランの田中先生にご指導を頂き、何とか監事の仕事をこなす事が出来ました。今年度はしっかりと新監事の葛西先生の手助けが出来ればと思っていますが、いまだにちゃんと独り立ち出来ているのか分からない状態ですので、顧問会計士の伊藤先生にご指導頂き職務を全うして行きたいと思っております。

今年は東北ブロックの開催県となり、執行部の先生方や事務の皆さんも大変な苦勞をされていると思います。監事として執行部に協力しつつ職務が適正に行われているかしっかりと見守って行きたいと思っております。今後とも会員の先生方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



## 青森地区会長に就任して

地区会長 奈良 功

令和5年5月13日の青森地区総会において、2期目の青森地区会長に就任させていただきました奈良功です。

昨年度までコロナウイルスの影響によりほとんど行事が行われていませんがこれからは地区の会員と連携しながら地区活動に邁進したいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



## 弘前地区会長に就任して

地区会長 池田 潤一

令和5年5月13日、弘前地区通常総会において地区会長に就任させていただきました池田潤一です。すでに慣れない地区会長に四苦八苦しております。地区の役員、先生方のお陰でなんとか乗り切っている感が否めません。

コロナウイルスの影響はまだありますが、徐々に例年通りの地区活動が行える状況となってきました。弘前地区で行っている弘前市内各地での筋力向上トレーニング教室を継続して行い、地区活動がとどこおらないようにしたいです。

9月に行われた東北ブロック会柔道大会、東北学術大会青森大会に参加しました。右も左も分からない状況でしたが県役員、事務局、他地区会長及び先生方、関係者各位のお陰でなんとか役目を終えることが出来ました。

皆様の助けが必要ではありますが、少しでも皆様のお役に立てればと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



## 八戸地区会長として

地区会長 滝澤 林太郎

八戸地区の会長となり3期目となりました。新型コロナウイルスが2類から5類になり一時期の脅威が少なくなったとは言え、まだまだ患者が減らない状態が続いています。

今年の八戸市健康祭りは講演会が追加されましたが、子どもの活動はパネル展となっていて依然としてお客さんと接する事が出来ない状態が続いています。それでも今年は飲食を伴った総会を開催する事が出来、これからの保険事務研修会も例年通りに出来ればと思っています。公益活動については今年はいつもの講演会の他に何か別の方法が出来ないものか模索中です。

未だに一つ一つの行事をどのようにしたら良いか先生方の意見を聞きながら検討している状態なので、早く平常通りの地区活動や行事の運営が出来ればと思っています。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。



## 十和田地区会長に就任して

地区会長 佐藤 秀樹

今年度より十和田地区会長に就任する事となりました。

県役員の先生方、各地区会長の先生方、そして事務局の皆様不慣れな所があると思いますが、宜しくお願い致します。

アフターコロナ・ウィズコロナという新たな時代の中で物事が動き始め色々な事に臨機応変に対応していかなければと考えております。

地区先生方のお力添えのもと三役と力を合わせていきたいと思ひます。

今後とも、ご指導のほどよろしくお願い致します。





## 五所川原地区会長 就任の挨拶

地区会長 佐々木 智彦

地区総会はコロナ禍のため、3年ぶりに令和5年5月13日(土)に五所川原市民学習情報センターで開催されました。

今回、五所川原地区役員改選で、私が会長を務める事となりましたのでご報告いたします。至らぬ点もあるかと存じますが、よろしく願いいたします。

新型コロナウイルスに感染された会員様には心よりお見舞いを申し上げます。

最近になり、コロナ収束の兆しが見え始め、ほっと胸をなで下ろしていたところではございますが、子供たちの夏休みが終わり現在は感染者が増え、今後もコロナと上手に付き合いながら、マスク・手洗い・手指の消毒など引き続き感染対策に努め、収束をめざしましょう。

今後とも皆様のご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



## 地区会長として東北学術大会に参加して

地区会長 三浦 岳人

今年度、地区会長の二期目を迎え5月には新型コロナが2類相当から5類に格下げになり地区としても県としてもコロナウイルス流行以前の事業が行われるようになりました。その中でも今年度最大の事業は「第42回東北学術大会青森大会」です。昨年度も岩手大会がありましたが柔道大会が無く、形のみを行うという形式で規模を縮小しての大会でしたが今年度はコロナ前と同じ規模で行われる事となりました。私はこの学術大会には毎年参加していましたが、それは勉強が主であるものの数年に一度しか会えない懐かしい顔に会えたり観光やお土産を楽しみに参加しておりました。しかし、今年は青森大会という事で私は柔道大会では記録係として開会式には優勝旗返還とレプリカの受け渡しの係を頼まれていたのでそれが終わり安堵していたのですが、選手宣誓でマイクがない事を気づいたその瞬間に、岡本前会長がマイクを運んで行ったのです。私は「あっ」と声を出しそうになりましたが既に遅すぎ気付かなかった事に猛省しました。次回はこのような事はないようにしていきたい思います。柔道大会全体としては大きな事故や怪我もなく良かったのではと思っています。学術大会では受付・案内係をしておりましてのであまり研究・実技発表を聞く時間が無かったのですが地元青森県の研究発表の新井田先生・実技発表の田中先生の発表だけは聞く事が出来ました。両先生共に素晴らしい発表で大変勉強になりました。数年ぶりのフルサイズでの学術大会で更に猛暑の中で会長はじめ大会役員の先生方そして事務局の皆さん大変お疲れ様でした。またこの様な機会があればもっと役にたてるよう頑張りたいと思います。



## 三沢地区会長就任挨拶

地区会長 山 端 祐 樹

青森県柔道整復師会 三沢地区会長として、地区の先生方と協力し、地域の健康と福祉を向上させるために尽力いたします。

地区会長としての責任を全うするために、次の4つのポイントについて考えています。

### 1. 地区内の柔道整復師の連絡網の強化

地区内の柔道整復師同士の連携と情報共有し、地域のニーズに応じて、効果的なコミュニケーションチャネルを確立します。

### 2. 地域の健康プログラムの支援

地区の住民に対して、健康促進のためのプログラムやイベントを提供していき、柔道整復師の専門知識を活かして、地域の健康作りへ貢献していきます。

### 3. 教育と啓発活動

地区内で柔道整復師としての知識やスキルを広めるために、ワークショップやセミナーなどの教育プログラムを提供します。また、柔道整復の重要性を地域の住民に啓発する活動も行っていきます。

### 4. 地域社会との協力

地区の他の健康関連組織や地方自治体と協力し、地域全体の健康増進に寄与し、協力関係を築くことで、より効果的な公益活動を実施していきます。

最後に、青森県柔道整復師会全会員の先生方及び三沢地区会員との連携をより強化し、地域社会に貢献する使命を全うすることを誓います。



## 黒石地区会長としての6年

地区会長 西谷正仁

原稿を依頼されたのが7月末のことで、前にも申し上げましたが、黒石地区の公益活動は秋以降になっています。今のところ公益活動に関して述べることはありませんので、標題の地区会長になってからの6年を書いてみたいと思います。

今年に入って、地区会長として7年目に突入しました。8地区の会長の中で一番長い経験年数になってしまいました。私が地区会長になった時にいた他地区の会長は、県の副会長や理事に就任した方もいます。

地区会長職は、上へのステップアップの土台となっているようです。しかし、私は理事になろうとか、ましてや、県の会長を狙おうという野望は一つもありません。平々凡々で結構です。

さて、過去6年といっても、半分はコロナの影響で殆ど何もできませんでした。

会長になった時は、前任の既定路線に乗って、今までお世話になっていた講師の先生にお願いしての公開講座、黒石市からの依頼による健康祭り等、開催してまいりましたが、十数年お世話になってきた講師の先生から次回からは辞退したいとの申し出があり、残念ではありますが申し出を承諾し、新しい講師を探すことになったのです。2年目は「終活」のエンディングノートの事。次の年は、人間の死についての「いのちの最期をみつめる」というテーマで大学の先生に講義を頂きました。その後はコロナの影響で手も足もできませんでした。

新しい講師の先生にお願いするにあたり、「終活」の講師には、私自身が交渉にあたり、次の年は、黒石市社会福祉協議会の方の紹介で、お願いすることになったのです。

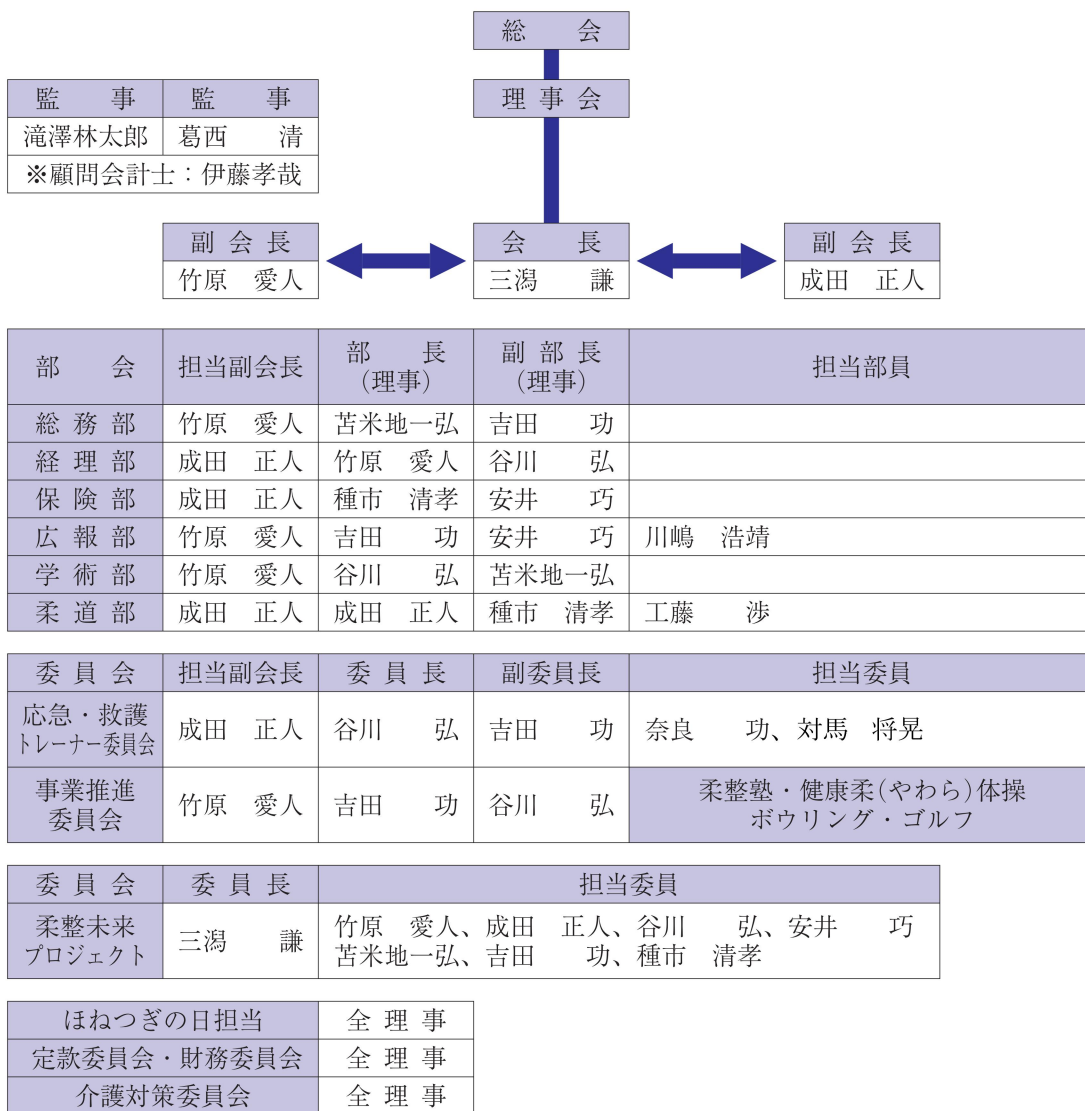
今年の24時間テレビのテーマである「明日のために今日つながろう」とありました。まさに、会長になったからという訳ではありませんが、いろいろな人とつながっているように思います。もう一つに、救護トレーナーをしてきた事も大きな財産となっています。

来年（令和6年）は、久しぶりに地区会長会が青森市で開催されることが決まったようだし、私も4期目に入った今年は、会員にも一般の市民、県民にも興味を持って頂けるよう、どんなテーマで、どこの講師にお願いするかで頭を悩ませております。4期8年で終えるよう、あと2年頑張っていきたいと思います。



令和5年度

## 常置機関及び職務分担



〔後列左から〕谷川弘理事、吉田功理事、安井巧理事、種市清孝理事、苫米地一弘理事  
 〔前列左から〕滝澤林太郎監事、竹原愛人副会長（理事）、三瀧謙会長（理事）、  
 成田正人副会長（理事）、葛西清監事

## 令和5年度 公益社団法人青森県柔道整復師会通常総会

総務部 竹原 愛人

令和5年5月27日(土)ウエディングプラザアラスカ地階サファイアの間に於いて令和5年度通常総会を開催致しました。

冒頭に物故者への黙祷を捧げた後に、三潟副会長の開会の辞に続き、岡本会長より挨拶（安堵感と哀愁が漂うような）を頂きました。

引き続き各表彰者と記念品贈呈、東北ブロック会青森県大会の学術論文・実技発表者・形競技大会の審判員・令和4年5月通常総会後に入会されました新入会員の紹介を行いました。

続いて議長団が登壇し、監査報告、会員移動状況、事業報告と審議が進み役員改選が行われました。改選の結果、直ちに別室にて監事立会いのもと三潟新会長と当選理事7名による臨時理事会が開かれました。その後総会会場へ戻り、新会長よりその旨会員へ説明されて閉会となりました。

## 今年度青森県表彰対象者の紹介

令和5年度の表彰対象の先生方を紹介します。永年第一線での活躍を続けてこられた先生方です。

🎖️ この度の受賞 誠におめでとうございます。 🎖️

－役員功労賞－



太田 友行会員（黒石地区）

－地域功労賞－

大内 二郎会員（むつ地区）

－地域功労賞（トレーナー活動）－



葛西 清会員（五所川原地区）

－会長表彰 入会50年－

松林 勝雄会員（むつ地区）

－会長表彰 入会40年－



大芦 一信会員（青森地区）	石田 公聖会員（青森地区）
豊川 房吉会員（八戸地区）	近江 俊正会員（八戸地区）
四橋 正敏会員（十和田地区）	葛西 清会員（五所川原地区）
岡本 幸治会員（五所川原地区）	盛 清ひこ会員（五所川原地区）

－会長表彰 入会30年－



亀田 泰文会員（青森地区）  
村山 弘典会員（八戸地区）



－会長感謝状 入会20年－



中野渡 敦会員（青森地区）

長寿のお祝いを迎えられた先生方です。

誠におめでとうございます。

－傘寿－

柳沢 茂友会員（八戸地区）

喜多 守会員（むつ地区）

－古希－



斎藤 克幸会員（弘前地区）

石田 順久会員（五所川原地区）

滝沢 光雄会員（三沢地区）

太田 友行会員（黒石地区）

中田 行貞会員（黒石地区）

成田信一郎会員（黒石地区）

－還暦－



尾野 道信会員（弘前地区）

福田 充会員（八戸地区）

苫米地一弘会員（十和田地区）

葛西 忠会員（五所川原地区）

三浦 靖尚会員（黒石地区）

松田 秋男会員（黒石地区）

## 令和4年度保険事務研修会

吉 田 功

日 時：令和4年11月27日(日) 午前9時～午後1時

会 場：アピオ青森、イベントホール

令和4年11月27日(日) 9:00～13:00 アピオ青森、イベントホールにて3年ぶりの保険研修会が開催されました。

当日はコロナ感染予防の為に手指消毒、検温、マスク着用をして71名の正会員・準会員に参加して頂きました。

最初に岡本会長より「コロナ感染に係る見舞金、10月時点で33件」「日整の現状報告」「後期高齢者の負担割合」「明細書発行について」「会員への緊急連絡用としてラインを使用」「2024年秋までにマイナンバーカードの保険証」と今後はますますパソコンを使用しての請求方法に移行することになる事という挨拶を頂きました。

最初に、損害保険料率算出機構青森自賠責損害調査事務所より講師：所長 越後紳夫様から「自賠責保険（共済）損害調査の仕組み」と題して、交通事故負傷の患者様の具体的な対処方法をお話して頂きました。

続いて、青森労働局より講師：労災補償課長 深山大智様から「労災保険に係る請求のポイント～最近の審査事例をもとに～」と題して、請求書は月単位で請求すること、傷病の経過の概要は「経過良好」や「疼痛、歩行痛」などではなく、症状の経過を詳しく記載すること、初検年月日は請求のつど必ず記載と再確認しました。

続いて、青森県国民健康保険団体連合会より講師：審査課長 佐々木潤一様、医科三係長 三上巳道様から「柔道整復療養費の請求の注意点等について」と題して、返戻されない様に請求事務を再確認しました。

最後に、全国健康保険協会青森支部より講師:全国健康保険協会青森支部専門職 工藤芳博様から「令和三年度に実施した「整骨院・接骨院のかかり方に関する啓発事業」の実施結果報告等」と題して、お話して頂きました。今後、保険請求が電子カルテ情報の標準化となり、難しくなってくると思います。

本日は昼食をとらずに通しての保険事務研修会ご苦労様でした。



# 青森県社会福祉協議会への寄付金贈呈式の報告

総務部 苫米地 一 弘

日 時：令和5年3月19日(日)

場 所：公益社団法人青森県柔道整復師会会館

令和5年3月19日、午前10時。公益社団法人青森県柔道整復師会会館において、青森県社会福祉協議会への寄付金贈呈式が開催されました。

当日は理事会の前で、本会理事、監事、地区会長が参加し、本会岡本幸治会長より「わずかばかりではありますが、社会福祉事業にお役立てください」との言葉があり、青森県社会福祉協議会の高杉金之助会長より感謝状の授与とお礼の言葉を頂きました。

本会は平成15年から継続的に社会福祉協議会への寄付を行っています。会員の皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。





## 第25回公益社団法人青森県柔道整復師会チャリティゴルフ大会

竹原 愛人

令和4年10月9日(日)みちのく国際ゴルフ倶楽部にて、3年ぶりにチャリティゴルフ大会が開催されました。この日しかないという位の晴天のもと12名の参加がありました。

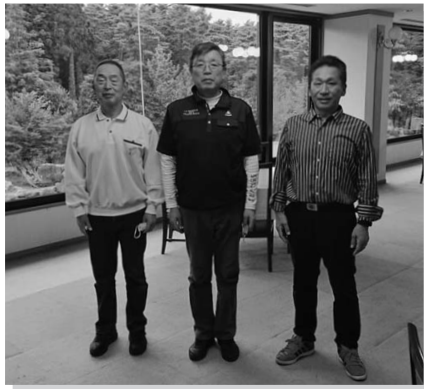
年々参加者は減少しておりますが、今回初めて参加された会員の先生もありました。また遠方から参加された方もありました。本当にありがとうございました。

優勝 八木橋次男会員（黒石地区）

準優勝 酒田正伸会員（むつ地区）

3位 高屋善章先生（ゲスト）

バスグロ賞 亀田泰文会員（青森地区）



本来であれば三沢地区の立崎秀男会員にも参加して頂きたかったのですが、残念ながら叶いませんでした。立崎会員のご冥福を祈り参加者全員で哀悼の意を示そうと黒いリボンを付けてプレーしました。

## 令和5年度「柔整塾」

事業推進委員長 吉田 功

日 時：令和5年8月26日(土) 17:00～18:30

会 場：青森県柔道整復師会会館 3階大会議室

演 題：応急・救護トレーナーの技術向上のための講習会

～2026年 第80回国民スポーツ大会に向けて～

参加者：正会員 20名 準会員 4名

講師 和田整形外科クリニック院長和田誠之先生は、スポーツドクター、健康スポーツ医、青森県柔道連盟の指定医としても活躍されており、過去の学術セミナーでも「スポーツ外傷に対する治療について」といったテーマでご講演頂きました。

今回は、2026年に青森県で行われる「第80回国民スポーツ大会」に向けて、応急・救護トレーナーとしての技術向上を目指し、スパインボードを利用した講習会を行いました。

負傷者を頸椎損傷していると過程してスパインボードへの移動を1チームスタッフ6人で体験しました、頭では覚えていても実際にやってみないとテキパキと対応できないと思いました。

公益活動の一環として、当会会員はもとよりトレーナー活動者を中心に限定少人数で開催されました。

今後とも、和田誠之先生には再度にわたりご指導のほどよろしく申し上げます。



# 令和5年度 チャリティーボウリング大会

事業推進委員長 吉 田 功

日 時：令和5年8月27(日) 10:00集合・開始10:30～

会 場：ラウンドワン青森店

参加者：会員 23名 藤聖母園 児童25名 職員11名 計59名

大会はコロナ禍のために4年ぶりに開催され、青森市の藤聖母園を招待して行いました。児童25名・職員11名・会員23名・計59名で南部と津軽を分けての大会だったでの参加人数が少なかったと思います。

本会は公益事業の一環として平成19年度より毎年度、県内の児童養護施設の子供たちを招待しています。

## 大会結果

1位	小笠原章雄 (八戸)	295点
2位	奈良 功 (青森)	291点
3位	佐藤 拓 (黒石)	288点
4位	池田 潤一 (弘前)	280点
5位	滝澤林太郎 (八戸)	275点



後は10位、13位 (十三湖賞) 15位、20位、25位、30位、35位、40位、45位、50位、55位、59位 (ブービーメーカー賞) と多数の商品を用意しました。商品の手配、運搬をして頂いた成田正人副会長には大変お世話になりました、ありがとうございました。





## 第26回チャリティゴルフ大会

竹原 愛人

令和5年9月17日(日曜日)「公益社団法人青森県柔道整復師会第26回チャリティゴルフ大会」が、みちのく国際ゴルフ倶楽部にて開催されました。前日まで続いた猛暑も和らぎ無風の中、12名の方々に参加頂きました。3組にわかれ「大きな笑い声」時には「大きな叫び声」時には「大きな悲鳴」がゴルフ場に響き渡りました。

今回、ゲストと致しまして高屋医院高屋善章先生(昨年に続き)、元会員奈良岡英雄様、同じく元会員藤田正一様、同じく元会員岡崎順一様(昨年に引き続き)参加頂きました。心よりお礼申し上げます。また、当会員の参加が年々減少しておりますので、是非来年参加して頂きたいと思います。

最後に協賛頂きました【株式会社エス・エス・ビー】様、【株グローバー】様、【富国生命保険相互会社】様ありがとうございました。

優勝 高屋 善章 様

準優勝 坂本 義美 様

第3位 岡崎 順一 様

ベストグロ賞 坂本 義美 様 GROSS 85



## 東北ブロック大会の様子



## 第35回記念大会 青森県柔道整復師会少年柔道・形競技大会 兼 東北ブロック大会・全国大会予選会

柔道部長 種市清孝

日 時：令和5年4月16日(日) 午前9時30分開会式

場 所：青森県武道館

主 催：公益社団法人青森県柔道整復師会

思い起こせば、令和元年の組織会において柔道部長を拝命し、その年の東北ブロック大会は無事に行われましたが、全国大会は台風災害により急きょ中止となりました。

その後、青森県大会に於いてはコロナ蔓延で中止の連続となり今回の開催は実に4年ぶりです。一変した状況により今回の参加選手は個人戦143人、団体戦18チーム、形競技は2チームとコロナ以前より3割ほど少ないため3試合場となり一週間の体調管理表の提出や入場制限、試合に於いては団体2試合、個人戦15試合毎に畳の消毒作業など感染対策に心掛けて臨んだ大会でした。

令和元年優勝の五所川原柔道少年団より優勝旗返還された後、賛助金贈呈、成田審判長注意と進み剛柔館藤田道場の豊澤陽彩選手の宣誓から、いよいよ試合開始です。

試合ルールは一層厳しくなり、積極的に攻めなければ直ぐに指導がきます。そのところは監督

から十分に指導されてるのでしょう、選手は果敢に責め合っていました。

準々決勝、準決勝と段々声援も大きくなり、活気溢れる大会となりました。

今年度は青森県が東北ブロックの主管県です。五所川原柔道少年団（優勝）と八戸市柔道少年団（準優勝）は9月2日（土）青森県武道館に於いて、第29回東北少年柔道大会へ出場、第10回東北少年柔道形競技会に藤崎町柔道スポーツ少年団Bチーム（優勝）、藤崎町柔道スポーツ少年団A（準優勝）が出場します。

更に今年度から形競技に関して県1チームが全国大会へ出場することとなり、藤崎町柔道スポーツ少年団Bの佐藤里菜選手（取り）、神山咲七選手（受け）が挑むことになりました。

最後に、今大会にあたり駒井先生始め青森県立木造高等学校柔道部員、並びに審判員、大会運営に携わったスタッフ皆様のご協力に感謝申し上げます。

## ◎試合結果

### 【団体戦】

優 勝：五所川原柔道少年団

準優勝：八戸市柔道少年団

3 位：車力柔道少年団

3 位：平内分団

※五所川原柔道少年団、八戸市柔道少年団は東北大会に出場

### 【形競技大会】

優 勝：藤崎町柔道スポーツ少年団B 224点

取り 佐藤 里菜 受け 神山 咲七

準優勝：藤崎町柔道スポーツ少年団A 208.5点

取り 村上 煌瑛 受け 寺口 哉斗

※2チームは東北大会に出場、更に藤崎町柔道スポーツ少年団Bチームは全国大会に出場

### 【個人戦】

#### ◇4年男子の部

優 勝：乳井琥太郎（五所川原柔道少年団）

準優勝：松川 誉弥（五所川原柔道少年団）

3 位：市川 大悟（三沢分団）

3 位：粕谷 蒼音（木造柔道少年団）

#### ◇4年女子の部

優 勝：工藤心都葉（車力柔道少年団）

準優勝：池田 結（青森市柔道少年団）

3 位：成田 虹菜（野辺地町柔道少年団）

3 位：横山 珠萌（木造柔道少年団）



◇5年男子の部

優 勝：葛西 優真（五所川原柔道少年団）

準優勝：木村 龍飛（車力柔道少年団）

3 位：菊池 翔大（五所川原柔道少年団）

3 位：新町 蓮（八戸市柔道少年団）

◇5年女子の部

優 勝：葛西 美希（剛柔館藤田道場）

準優勝：櫻井 柚花（青森市柔道少年団）

3 位：三橋 愛莉（青森市柔道少年団）

3 位：佐藤 里菜（藤崎町柔道スポーツ少年団）

◇6年男子の部

優 勝：川浪 倫樟（五所川原柔道少年団）

準優勝：佐々木 歩（五所川原柔道少年団）

3 位：森 優心（黒石分団）

3 位：大関 元裕（八戸市柔道少年団）

◇6年女子の部

優 勝：豊澤 陽彩（剛柔館藤田道場）

準優勝：片山 佳奏（平内分団）

3 位：池田 紬（青森市柔道少年団）

3 位：佐藤 莉亜（車力柔道少年団）

**【青森県知事賞】**

4年男子 乳井琥太郎

4年女子 工藤心都葉

5年男子 葛西 優真

5年女子 葛西 美希

6年男子 川浪 倫樟

6年女子 豊澤 陽彩

# 第29回東北少年柔道大会 第10回東北少年柔道形競技会

柔道部員 工 藤 渉

令和5年9月2日(土) まだまだ暑さが厳しい中、青森県武道館にて自県担当は8年ぶりとなる東北ブロック会青森県大会、東北少年柔道大会・形競技会が開催されました。大会開催に伴い前日の1日(金) 午後3時から大会役員・関係者の先生方と共に地元弘前大学柔道部の皆さん方の若い力をお借りし、会場設営を約2時間半にわたり準備しました。大学生の皆さんの手際の良さにはさすがで感心させられました。

今年は会員の部が中止となり小学生4年生以上による柔道大会と形競技会となりました。

東北6県から各県代表2チームが参加となるのですが、さすが県大会1、2位の代表チームであり中には体格も柔道技術も小学生レベルを超えている選手もいて凄く驚きました。

事前に各ブロックの会長が抽選をして3チーム×4ブロックのリーグ戦で1ブロック二試合を行い勝ち点が多いチームが決勝トーナメント進出となります。

青森県からはDブロックで五所川原柔道少年団、Aブロックで八戸市柔道少年団が出場し、けっして簡単ではないリーグ戦を制して、決勝トーナメントにはAブロック八戸市柔道少年団、Bブロック秋田県鎌田道場、Cブロック山形県酒田市柔道スポーツ少年団、Dブロック秋田県小友唯心塾がそれぞれ勝ち上がりました。

決勝トーナメント準決勝1回戦八戸市柔道少年団対秋田県鎌田道場の対戦となり②対2の内容勝ちで八戸市柔道少年団の勝利。同じく決勝トーナメント準決勝2回戦山形県酒田市柔道スポーツ少年団対秋田県小友唯心塾の対戦1対3で小友唯心塾の勝利。

決勝戦は八戸市柔道少年団と小友唯心塾が対戦。

先鋒戦から両者共に小学4年生とは思えない白熱した戦いが始まり大将戦まで攻防一体の中、八戸市柔道少年団が見事接戦を制し2対1で優勝となりました。

また、形競技会では事前に棄権の少年団や当日の選手発熱の為、やむを得ず棄権という少年団もありましたが全部で9チームの参加となりました。

形の部もやはり各県からの代表であり凄く練習を重ねてきたのだなと分かるものばかりでした。形の選手達は試合会場の独特な雰囲気、いつも練習をしている道場と違う中で緊張も最高潮の中、本当に堂々と一生懸命形を披露していました。

結果は第1位青森県藤崎町柔道スポーツ少年団(佐藤・神山)、第2位山形県高橋道場、第3位青森県藤崎町柔道スポーツ少年団(村上・寺口)と大健闘した形となりました。

今回は柔道大会・形競技会共に青森県勢の活躍が目立つ大会となりましたが、やはりどこのチームの雰囲気を見ても監督・コーチによる指導の熱意や、ご父兄の方々の子供達への応援等県を代表するチームだと思ひておりました。

最後になりますが、大会開催にあたり青森県柔道整復師会事務局の皆様、役員の皆様、会場設営・撤収を最後まで協力して頂いた弘前大学柔道部の皆様、快く協力して頂いた青森県中体連・高体連の審判員、形審査員の先生方、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

## 公益社団法人日本柔道整復師会第42回東北学術大会 青森大会 懇親会の様子



### 東北ブロック会学術大会・青森大会

学術部長 谷川 弘

毎年恒例の東北学術大会は、まるで青森「ねぶた」祭りに似ている。

そして、今年の7月に青森市で「東北<sup>きずな</sup>絆祭り＝六魂祭」が久しぶり青森市で開催され見物に出かけてみた。

青森は「ねぶた祭り」、秋田は「竿灯祭り」、山形は「花笠音頭」、福島は「<sup>わらし</sup>草鞋祭り」、宮城は「すずめ音頭」、岩手は「盛岡さんさ踊り」と東北学術大会そのものである。

毎年、「青森ねぶた」は8月7日の最終日の翌日には、来年のねぶた制作の下絵に取り掛かるといふ。そして、ねぶた師を筆頭に何人ものスタッフが一年掛かりで「青森ねぶた」を完成させる。また、「青森ねぶた囃子」の「組」が太鼓、笛、の練習に熱が入り、初日8月2日に「青森ねぶた」が出陣する。

東北学術大会が終わると来年の学術大会の論文（発表者）を募集し、選考して査読し校正作業、原稿の手続き、広告掲載の手続きを終えて大会誌の発行に漕ぎ着けるのです。また、発表者は原稿の作成、パワーポイントの作成、発表の準備を学術部長（座長）と二人三脚で行います。

また、全ての理事、地区会長、事務局員、各係（会員）が総動員で東北学術大会を運営・ホストすることは、まさに「青森ねぶた祭り」そのものではないか。

今年は役員改選期により人事が替わり、前回の青森大会の経験理事がほとんど居ない中コロナ禍によりミーティングもあまり出来ず、手探り状態に近い開催でした。

細かいミスや反省点はありますが、スタッフ皆様の協力で無事に大会を成功に導けたことに主管県の学術部として、座長として感謝申し上げます。

## ブロック大会学術発表を終えて

十和田地区 田中 松雄

2023年9月2日(土)・3日(日)、第42回東北学術大会・青森大会がアートホテル弘前シティに於いて、新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられ社会活動の制限も緩和に移行の中、東北ブロック大会は青森県柔道整復師会の主管で開催されました。

昨年に続き今大会でも発表の機会を与えて頂き、5年連続6題目の発表をさせていただきました。関係者各位に心より御礼を申し上げます。

昨年同様今年も治療室に於いて経験した事を発表させていただきました。論文については数度の校正訂正があり、今年もまた竹原副会長、谷川学術部長、苫米地学術副部長各位にはご指導ご協力をいただきました。

実技発表現場に於いては、四橋正敏会員、モデルになっていただいた菊池祐希先生には、多大なるご協力もいただきました。地元青森県での開催と言う事で最終発表者と言う事なので緊張し過ぎたのか、例年同様下手な発表をさせていただきましたが、パソコンの操作が出来ず学術部長に作成頂きましたパワーポイントの画像を会場に紹介出来なかった事が残念に思っています。谷川学術部長には多大なる御迷惑をおかけ致しました。改めてお詫びを申し上げます。

## 東北ブロック学術大会・青森大会での学術発表を終えて

八戸地区 新井田 一 吏

先ずは今学術大会の学術論文発表者募集への応募に際し、発表者に選出していただきありがとうございました。改めて関係者の皆様にお礼を申し上げます。

今大会は研究発表も実技発表も学生発表も、興味を惹かれるものが多くありました。整復や固定、後療法など、いわゆる参考書や教科書などの方法を、さらに良い方法はないかと考察する姿勢に感服しました。これからの施術に活かしたいと思ったものがたくさんありました。また、岸谷整形外科クリニック院長の岸谷先生の「運動器超音波診療の新時代：現状と最近の整形外科診療についての動向」と題した講演はさらに心惹かれた内容でした。診断にも治療にも超音波画像装置を多用しているお話で、大変参考になりました。公演の最後に「レントゲンやMRIなどを用いずに超音波画像のみで診断をする例がたくさんあると解釈してよろしいですか？」と質問したところ「はい。」の、



まったく躊躇ない二つ返事に面食らい、お礼も告げずに席に着いたと記憶しています。超音波画像観察装置の使用を許された我々には自信のつく振舞いであったと同時に、責任を持った施術に用いることができるように、機器の取り扱いや読影にとさらに研鑽を積まなければならないと確信したところでした。

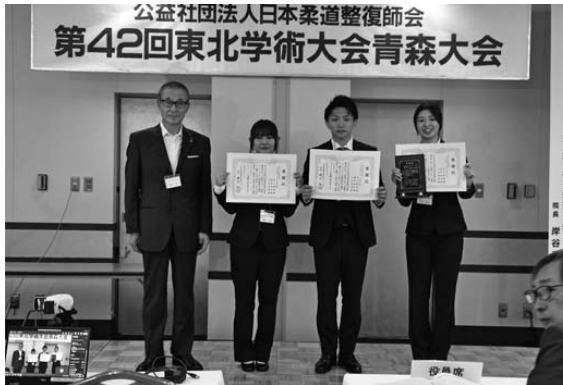
さて発表を終えての感想ですが、毎回の学術論文発表と同じで、満足感と達成感と反省点があるのはこれまで通りです。以前から今研究について漠然とした構想があったため、応募を約一年前に決めて研究にとりかかりましたが、調査を進めるうちに最初に思ったことは「これは大変なものに手を付けてしまったな」でした。後悔し、頭を悩ませ策を練り直し、諸先生方にアドバイスを頂き研究が進んではまた止まり…。何とかやっと締め切りの日に間に合いホッとしつつも、不安もあながらの提出でした。しかし事前に大会抄録が会員へ配布されると、大会当日発表前にもかかわらず抄録を読み終えた先生からも、発表を聞き終えた先生からも反響がとても多く、“調べる量が多くて大変だったでしょう？”、“いい発表だった”、“早見表は使わせてもらいます”、“私もこういう経験があった”等々と大変多くの方々から声をかけていただき、過去幾度の学術論文の中で一番嬉しく満足した発表となりました。

学術論文作成は当然のことながら、決して発表者を採す担当者を安堵させるためではありません。接骨院に来院してくださる患者のため、何より筆者自身のためのもです。私自身今回も疑問に思ったことが解決され当然自分のためになりました。早速、本日からの接骨院での施術に向けて、当論文で作成した早見表を備えているところです。今後も疑問があったらまた研究に取り組みたいと考えております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら、今学術論文の作成にあたりご指導いただきました諸先生方に深甚の意を表します。

## 公益社団法人日本柔道整復師会第42回東北学術大会 青森大会の様子





## 東北ブロック会青森大会についての報告

総務部長 苫米地 一 弘

令和5年度、東北ブロック会青森大会はどんな大会だったのか、はじめに私の印象を申し上げます。一つ目として「超音波画像診断・柔整新時代を象徴する大会」、二つ目は「次代を担う若い会員、柔道大会の少年少女が大活躍した大会」、三つ目は「伝統の技がしっかり継承された大会」、これらが私の東北ブロック会青森大会の印象です。

具体的に言うと一つ目の超音波画像診断・柔整新時代は日整の学術教育部のワークショップが行われ、エコー画像を体験しながらの講習会で、エコーを使っている会員もエコー体験が初めての会員にも分かりやすく、エコーの必要性を確認できる講習だったと思います。そして特別講演の岸谷整形外科クリニック院長、岸谷正樹先生は最新のエコー画像診断のお話などをしてくださり、これからの画像診断はX線画像診断よりエコー画像診断が主流になるのではないかとという内容のお話でした。何よりそれを柔道整復師が使える、長い歴史の中で初めて画像での判断ができる、新たな時代に入ったかの印象を受けました。

二つ目の次代を担う若い会員、柔道選手の活躍については、青森県柔道整復師会は高齢化の一途なのですが、今大会は若い会員の参加、学術発表、発表に対しての質問が数多く見受けられました。柔道大会の少年少女の活躍も目を見張るものでありました。

三つ目の伝統の技がしっかり継承された大会については、学術発表に骨折や脱臼の発表が数多くあり、内容も新しい試みや伝統の技を受け継ぎながら工夫された整復など柔道整復師本来の技術が反映された発表が多くあったと思います。柔道大会では子供達が演じた形競技で伝統の技の継承を感じました。

令和5年9月1日の大会準備、9月2日の第29回東北少年柔道大会、第10回東北少年柔道形競技会、9月2日午後から9月3日の第42回東北学術大会青森大会の報告をいたします。

大会実行委員、柔道大会競技委員として、公益社団法人青森県柔道整復師会理事、監事、8地区の地区会長、本会の柔道部員、IT委員、事務局が務め、そして柔道会場では弘前大学柔道部員の皆様にお手伝いしてもらいました。9月1日、午後3時、柔道会場の青森県立武道館と学術会場のアートホテル弘前シティに分かれて大会準備を行いました。

9月2日は午前7時50分、全員武道館集合し、9時半開会式、各県各地区から協力してもらった審判員のおかげもあり、順調な運営、選手の奮闘、見応えある大会となりました。

9月2日、12時半からの学術研究発表、実技発表リハーサルがあり、谷川学術部長と佐々木機器操作担当がアートホテル弘前シティへ移動しリハーサルへ。残りの競技委員も学術大会の自分の担当に合わせて次々と移動、種市保険部長が最後、武道館柔道会場を確認、何かと忙しい移動となりました。

9月2日、12時半から研究発表実技発表リハーサル、12階では午後2時半から三濁会長、竹原副会長、成田副会長が出席し、東北ブロック役員の方々と共に日整長尾会長、竹藤副会長、徳山学術教育部長との意見交換会が行われました。

その間、大会準備、打ち合わせをし、午後4時、司会に津島綾乃アナウンサーをお願いし、アー



トホテル弘前シティに於いて、公益社団法人日本柔道整復師会東北ブロック青森大会開会式が行われました。その後、徳山学術教育部長のお話があり、続いて日整ワークショップがありました。匠の技プロジェクト指導者候補の高橋会員、新井田会員にお手伝いをお願いしたワークショップではエコー画像診断を中心に橈骨下端骨折の整復固定の参加型講習で準備は大変でしたが会員からは好評だったようです。

午後6時半からは同じく津島アナウンサーの司会でアートホテル弘前シティプレミアムホールにおいて、大懇親会が開催されました。コロナ感染予防のため数年自粛していた懇親会を通常通り開催し三瀨会長の歓迎の挨拶の後アトラクションでは各県代表による大カラオケ大会を行い、青森県は成田副会長と吉田広報部長が熱唱、会場は大いに盛り上がりました。懇親会最後に次期開催県の(公社)秋田県柔道整復師会伊藤護会長より今大会の感謝と秋田大会への招待の挨拶がありました。

9月3日は9時半から岸谷整形外科クリニック院長の岸谷正樹先生の超音波画像、最新整形外科治療の特別講演、その後、会員の研究発表、仙台医健スポーツ学校の学生による発表、実技発表と続きました。青森県からは座長としては谷川学術部長が務め、研究発表は新井田一吏会員、実技発表は田中松雄会員が発表しました。

新井田一吏会員の「教科書に見る運動器疾患と類似する疾患の鑑別について」は私達柔道整復師の施術の診察時に必ず遭遇する運動器疾患以外の原因による痛みなどの症状の鑑別の発表。今までにない、大変ためになる内容で感心しました。

田中松雄会員の「橈骨近位端骨折と肘関節後方脱臼の複合外傷の整復固定について」は伝統の技の中に独特の整復法の発表で大変興味深い素晴らしい内容でした。

青森県の座長は谷川学術部長が務め、研究発表、実技発表を通して発表者の発表しやすい環境に配慮し、タイムスケジュールなど全体を管理、学術大会をまとめました。

最後に日整の徳山学術教育部長による講評、発表者などの表彰を行い、成田正人副会長による閉会の辞をもって東北ブロック青森大会は無事終了しました。

## 日整ワークショップについて

高橋尚裕

この度、東北学術大会青森大会の日整ワークショップのサポートをする機会を頂きました。

3年前よりスタートした、日整の「匠の技プロジェクト」は、各都道府県からの代表者が、リモートや、東京での実施研修にて、エコー観察と、整復法を改めて学び、各都道府県に持ち帰り伝達するというプロジェクトです。今回のワークショップが、初めての伝達の間でした。今回は、実際に、「匠の技プロジェクト」で教えていただいた講師の先生方が、直接、青森に来られて指導するという、貴重なワークショップだったと思います。

なかなかうまくサポートできない部分もありましたが、逆に、周りの先生方に助けられて、無事、終わることが出来ました。特に印象に残っているのは、若い先生よりも、年配の先生の方がエコーに興味を持って、積極的に質問してくれたことです。いくつになっても、患者様の為に、新しい知識を貪欲に吸収しようとする先輩柔道整復師の学ぶ姿勢を見て、身が引き締まる思いでした。



これからの時代、エコーは柔道整復師にとって、切り札になる存在だと感じております。根拠ある施術を提供して、患者様の信頼を得られる柔道整復師を目指して、引き続き、学びを止めないようしていきたいと思っております。

この度は、貴重な経験の場を頂き、ありがとうございました。

特別講演

## 「運動器超音波診療の新時代：

## 現状と最新の整形外科診療についての動向」を拝聴して

安井 巧

令和5年9月3日(日)アートホテル弘前シティにて、東北学術大会青森大会、特別講演を岸谷整形外科クリニック院長、岸谷正樹先生をお招きし「運動器超音波診療の新時代：現状と最新の整形外科診療についての動向」を拝聴させて頂きました。

まず、なぜ整形外科医の中でも超音波診療が推進されるようになったのか。それは今まで漠然と診断してきた病症を超音波を使用することで、より細かに判断でき、病名も細分化できる。何より安全かつ正確にそれを行える。そのために超音波診療が有用でありCT、MRIを上回る可能性がある事を説明して頂きました。それを踏まえ足関節、膝、肩、腰背部の病名別でのアプローチの仕方、神経レベルの診断が出来ることなどをお話して頂きました。

前日の日整ワークショップで佐藤先生が「超音波は技術よりも慣れです。」と仰っていました。また岸谷先生のスライドの一文で「原因を超音波とともに究明する」とありました。我々柔道整復師も近い将来、超音波の使用が標準化していくかもしれません。まだまだ勉強不足であることを痛感しましたが、大変勉強になる有意義な特別講演でした。

## 第31回日整全国少年柔道大会

柔道部長 種市清孝

### 【青森県代表選手】

監督：種市 清孝

コーチ：成田 正人

大将：野辺地宇綺（むつ少年柔道教室）

副将：武田 煌叶（五所川原柔道少年団）

中堅：川浪 倫樟（五所川原柔道少年団）

次鋒：佐々木歩睦（五所川原柔道少年団）

先鋒：菊池 翔大（五所川原柔道少年団）

昨年に引き続き全国大会が講道館に於いて、11月20日(日)開催されました。

青森県柔道整復師会主催の県大会は今回も中止となり、全国大会出場選手は6月に開催された学年別柔道大会を視察したうえで選考しました。

今大会は選手1名につき保護者1名と各都道府県会長の観覧席入場が許されました。

会場については昨年同様試合を行うチームだけが入り、その他は控室で誘導者の指示を待つという効果的な感染対策と思われました。

試合は1回戦、長野県チームと対戦し2対2の引き分けによる代表戦、成田コーチと相談の上、野辺地君を指名し見事一本で勝利を収めました。

2回戦は大阪府チームと対戦、積極的に攻めるも組ませてもらえず0対1で惜敗しました。

全国大会に出場する選手は拮抗したレベルです。体を崩さなければ技は簡単に決まりません。体さばきから連絡技が大事だと思います。コロナ禍で十分な練習が出来ず辛いと思いますが、今よりも更に強い選手になることを願っております。

最後に青森県選手はフェアプレーを受賞しました。試合に臨む姿勢、礼儀は誇れると思います。日頃の指導によるものであり指導者並びにご家族のご理解によるものと敬意を表します。今後とも宜しくお願いを申し上げますとともにご尽力ありがとうございました。

## 青森地区

## 令和4年度 保険業務勉強会

青森地区 奈良 功

令和4年9月10日(土) 午後5時より、青森駅前の青森市役所駅前庁舎アウガ5階「青森市男女共同参画プラザ」小会議室において、令和4年度青森地区保険業務勉強会が開催されました。参加者は地区会員22名。

谷川弘県理事を講師に「今回の改正について」と題して始められました。

今回の改正では今までの領収書の交付の義務化からさらに明細書無償交付をするかどうかの改正で月1回13円を請求できるとのことで、3名以上常勤職員がいる場合は明細書の発行が必須で、それ以外の施術所では無償で発行する場合は届出が必要であるとの説明をいただきました。また、届出しない場合は患者の求めに応じて1回〇〇円を頂けるとのことでした。

そのほかにもどんどん保険請求が厳しくなりこの先が不安になりました。

最後に間違いのない療養費の請求書作成に努め、常に業務の内容を見直しをして資質の向上のため努力していかなければと感じました。



### 公益活動「あなたの街の整骨院・接骨院」

弘前地区 池田潤一

令和4年11月23日(水、祝日)、午前10時より弘前市ヒロロ3F多世代交流室1にて『あなたの街の整骨院・接骨院』を開催致しました。

新型コロナウイルス第8波の感染が拡大している状況でしたので直前まで開催が危ぶまれましたが、感染予防対策を万全に行いました。

内容として弘前地区柔道整復師会の施術所の紹介、活動報告のパネル展示、健康相談コーナーを設けて来場者へアドバイスを行いました。

パネル展示では弘前市より弘前地区柔道整復師会に講師派遣を依頼されている筋力向上トレーニング教室の写真を展示しました。筋力向上トレーニング教室は65歳以上の弘前市民を対象に参加費無料で介護予防を目的としたストレッチ、筋トレ指導を実施しております。毎週月～金曜日の午後1時～2時まで全18会場にて行っております。

相談コーナーでは痛みやケガの相談の他に簡単なストレッチや筋トレの指導を行いました。また、整骨院・接骨院を受診したことが無い方々より「何をしてくれる所か」「どのようなときに行けばよいのか」等の質問を受けました。「整骨院・接骨院」の認知度を増やす必要性を感じました。

会場のヒロロは複合商業施設で3Fは弘前市行政フロアとなっております。行政窓口、健康広場、高齢者トレーニング教室、こども広場などがあります。普段なら家族連れなど多くの方がいらっしゃるのですが、コロナ過のためヒロロへの来場者が少ない状況でした。今年のご来場者数は20名でした。次回の公益活動では今までの反省点を踏まえ、来場者を増やし、「整骨院・接骨院」のアピールをしてお来場者様に満足していただけるような機会にしたいと思います。そして、地域の方のためになるような活動を継続していきたいと思っております。

今回、参加して頂いた先生方、協賛して頂きました(株)グローバー様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。







## 八戸地区

### 八戸地区清掃活動報告

八戸地区 吉田圭悟

令和5年7月23日(日)8時30分から9時30分まで蕪島海岸にて八戸地区の会員14人準会員1人合計15人で清掃活動に行いました。

当日は快晴の下、可燃ごみ4袋、不燃ごみ2袋集まりました。

猛暑であり熱中症予防の為、水分補給を取りながら清掃活動に励みました。

清掃活動に対しての会員の前向きな姿勢は来年以降も地区連絡を通しながら進めていきたいと思っています。



## 十和田地区活動報告

十和田地区 櫻田陽輔

8月25日(金)に行われた「令和5年青森県総合防災訓練」に参加しました。

今回は十和田市付近で震度6強の地震発生に対する訓練で県・十和田市のほか警察・消防などから約3,500人参加。十和田地区の会員からは10名の参加となりました。当会は「左下腿骨折疑と右前腕部打撲に対する応急処置」を担当しました。宮下県知事も視察に訪れ「応急処置は無資格者が行うのですか?」と質問されましたが、佐藤地区会長より「私たちは国家資格を持っている柔道整復師で応急処置が認められています。」としっかり説明することができました。



コロナ禍により4年ぶりの開催となり、また私自身入会し初めての活動で不安もありました。しかし事前に「防災訓練研修会」を行い、諸先生方に親切丁寧に指導して頂き当日は順調にできたと思います。

今回の活動を通して災害はいつ・どこで起こるか分からないこと。私たち柔道整復師は応急処置等で必要とされていることを学びました。これからも研修会等に参加し不測の事態に備えたいと思います。未熟者ではありますが当会の一員として努力したいと思います。今後ご指導宜しくお願いします。



## 五所川原地区

### 保険事務研修会

五所川原地区 葛西 清

8月27日(土曜日)午後6時から午後8時まで、つがる市内、木造農村環境改善センターにおいて保険事務研修会を開催しました。ちょうどコロナ感染が多くなった時期でしたが会員25名の参加がありました。講師には県柔道整復師会会長の岡本先生が派遣されました。この度の領収書に付随する明細書の発行について詳しい説明があり、納得のいくまで質疑が続きました。その他にも普段の細かい請求事務などの質疑が続き時間いっぱいまでの開催となりました。都合のつかなかった先生にも、次回は是非参加されますよう期待したいと思います。



### 五所川原地区公益事業について

五所川原地区 佐々木 智彦

公益事業活動もコロナ禍の為、各市町村で開催される事業や大会等が少なくなり、令和5年度からはコロナ収束の兆しが見え始める中、感染対策をしながら各市町村ではお祭りや大会等が開催されるようになりました。その中で、各県では地震、大雨による水害、異常気象地球温暖化によりお祭りや大会等が中止や延期になっています。五所川原地区公益活動として活動予定の1つ、中泊ビーチサッカー大会も令和5年7月15日(土)16日(日)二日間の予定で当日まで準備をしていましたが大雨のため中止となりました。

#### 公益活動

- ①中泊町ビーチサッカー大会 (大雨のため中止)
- ②つがる市グランドゴルフ交歓大会
- ③深浦町深浦グランドゴルフ大会

上記大会での公益活動の準備をしました。



## ②つがる市馬市まつり協賛 第14回つがる市グラウンド・ゴルフ交歓大会

令和5年8月25日(金) AM7時30～PM16時15分

令和5年8月25(金)～27日(日)まで、つがる市馬市まつりが開催される中で8月25日にはつがる地球村で、つがる市馬市まつり協賛 第14回つがる市グラウンド・ゴルフ交歓大会が開催され競技参加選手、男子122名・女子124の計246名の参加者が競技に参加致しました。

大会競技開催での挨拶の中、公益社団法人青森県柔道整復師会及び五所川原地区会の紹介と地域での整骨院・接骨院の業務内容と活動を報告し、また、各会員が县市町村のスポーツ大会などで応急・救護トレーナーとして活動をしていることもPRをしました。大会受付場所には整骨院コーナーの看板を立てて、痛みの相談・施術体験・テーピング固定についての指導と相談をしました。

健康・痛みの相談と運動と指導・ストレッチと指導・テーピング固定と指導などテーピング固定指導では、「このように固定をすると良いですよ」と固定してあげると「痛みが無くなった、動きやすい」ととても喜んでいました。

### <相談・指導・施術体験・テーピング固定と指導・健康管理指導内容>

生別	部 位	内 容
女性	右膝関節・左肩関節の痛み	膝関節のテーピング固定と運動とST指導
女性	両膝関節の痛みと右足関節を痛み	体調管理と食事について・運動とST指導
男性	左膝関節の痛みと右肘関節の痛み	手関節のテーピング固定と運動・ST指導
女性	右膝関節の痛み・右手関節の痛み	膝関節・手関節のテーピング固定と運動・ST指導
女性	右膝関節の痛み	膝関節のテーピング固定と運動指導
男性	腰椎・頸椎の痛みについて	運動・ストレッチ後ST指導
計	6名 12部位	テーピング固定と指導・運動、ST指導

また競技の水分補給では“競技前からの水分補給”と“競技中の水分補給”と“競技終了後の水分補給”の3つの水分補給が大事ですと注意を呼びかけました。

会場待機場所で対応していましたが、大会の日はとても熱く38度・湿度85%と、黙っていても汗が止まらずに地区会員も倒れそうでした。

## ③深浦町深浦グラウンドゴルフ大会

令和5年9月9日(土) AM6時30～13時30分

大会前日からの雨で、当日も雨が降り深浦町夕陽ヶ丘公園での開催が、深浦町町民体育館での開催となりました。

大会参加者50名の予定でしたが、最近コロナ感染者が増え39名の参加者となりましたが、皆さん元気が良く汗を流しながら頑張っていました。

雨の降っている中での体育館で開催されたため湿度が高く競技をしない地区会員でも汗が止まりませんでした。

大会競技開催での挨拶の中では、公益社団法人青森県柔道整復師会及び五所川原地区会の紹介と地域での整骨院・接骨院の業務内容と活動を報告し、また、各会員が县市町村のスポーツ大会などで応急・救護トレーナーとして活動をしていることもPRをしました。大会受付場所には整骨院コーナーの看板を立てて、痛みの相談・施術体験・テーピング固定についての指導と相談をしました。



選手の方で膝関節の痛みと肩関節の痛み、ストレッチのやり方、運動指導など整骨院・接骨院などの通院を勧める、整骨院・接骨院はどのような治療をするのか、テーピング固定の仕方などについてお話をしてきました。

利用者は三名でしたが、膝関節・肩関節の痛み、肘関節・手指関節の痛みなどのテーピン固定と健康管理指導、ストレッチ、運動指導など対応を致しました。

深浦グランドゴルフ大会もつがる市グランドゴルフ大会の時と同じで、前日まで雨が降り、当日も雨が降っている中の体育館での大会開催のため温度34度・湿度70%もあり黙っていても汗が止まらず大変でした。

## むつ地区

### 令和4年度むつ地区保険業務勉強会

むつ地区 三浦岳人

令和4年8月28日(日)「むつ下北観光物産館まさかりプラザ」に於いて講師を吉田功理事にお願いして午前11時から「保険事務勉強会」が開催されました。地区としては3年ぶりの開催です。10月1日から算定基準の一部改定に伴い地区の会員に変更内容を周知をして頂く為に急遽行われる事となり、12名の会員が出席しました。改定の内容である東北厚生局に届出が必要か不要かを個々に確認し、詳しく説明をして頂きその他に一部負担金と保険外が分かり更に合計金額が記入された領収書の発行の義務化や明細書の交付等について詳しく説明がありました。

今回は当地区選出の理事が講師という事もあり、他の事案に対しての質問や普段はあまり聞きにくいような質問も有りとても和やかな雰囲気勉強会が行われ、改定の内容や普段から行われている業務に対しても再確認出来て大変勉強になりました。

### 第1回 「Re:bone」 Web会議(日本柔道整復師会主催)に出席して

三沢地区 山 端 祐 樹

令和5年3月4日(土)日整では、これまで若手会員の意見を聞く仕組みが少なく、将来のための具体的な意見やアイデアなどを発言してほしいという趣旨でこの様な取り組みが始まりました。

日整からは会長をはじめとする各部長、都道府県柔道整復師会からは若手会員各1名が出席し、組織強化(会員数増加)について様々な意見が交わされました。

入会に対するメリットはどこにあるのか? SNS等をもっと活用するべきではないのか!

入会の勧めを養成学校や他団体にもPR活動をするべきだ!

柔整業界唯一の行政との交渉団体として、違法広告や、レセプトの使用について他団体へ意見できないのか?などの厳しい意見もありましたが、柔道整復師が医療関係者としての地位向上のため、国際・国内ジャーナルに論文を提出していけるようにしていきたい、その為のサポートを日整でしてほしい。

受領委任払い・機能訓練指導員の制度を確立したのは日整の先達の先生方であり、この歴史をしっかり認識する学ぶ機会をもっとつくってほしい。

各会員が「匠の技 伝承」プロジェクトをもっと活用するべきではないか!など学びに対する意見が数多くありました。

身近なところでは令和8年(2026年)に青森県で第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」の開催が決定されており、益々我々の活動の場が増えてくると思います。

私も自己研鑽し柔道整復師としての資質をもっと高めていきたいと感じました。そして今回この様な機会をいただきました事に感謝申し上げます。

### 「ほねつぎの日 市民公開講座 健康祭(三沢市)」開催報告

実行委員 坂 本 篤 志

日 時：令和5年2月26日(日)～3月4日(土)

場 所：ビードルプラザ

主 催：公益社団法人青森県柔道整復師会

主 管：三沢地区柔道整復師会

令和5年2月26日(日)より一週間、三沢市の商業施設ビードルプラザにおいて「市民公開講座 健康祭」を開催しました。

新型コロナウイルスやインフルエンザ感染予防を踏まえ今回はポスター展での開催となりました。「柔道整復師とは?」「接骨院・整骨院のかかり方」などまだ受診されたことのない方や受診さ

れたことがある方でも再度認知して頂けるような内容で「わかりやすかった」との声を頂戴しました。また、イベント初日には来場された約200名様に直接三沢地区会員の名簿と柔道整復師の案内をするリーフレットをお渡しする事ができアピールの場を作る事もできました。

例年であれば体組成計での測定や骨密度測定、健康相談など、地域の方と交流を深めておりましたがこういった形でも柔道整復師を理解してもらえることに新たな発見が見えたイベントでした。来年度は今までの経験を活かし地域の方々と交流を深め、より一層「柔道整復師」をご理解頂けるイベントになればと思っております。

今回は例年と違った内容でしたがご理解、ご協力して頂いた地区会員ならびにお手伝い頂いたスタッフのご協力に感謝申し上げます。



# 「令和4年 黒石市健康づくり市民のつどい」参加報告

黒石地区 西谷正仁

令和4年11月19日(土)・20日(日)の2日間にわたり、第31回黒石りんごまつりと同時開催の「健康づくり市民のつどい」に参加しました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催参加になったのですが、県内での感染状況が最悪の状況の中、我々も緊張しながらの参加になりました。例年ですと、フットプリンターとインボディ検査では裸足になるため、移動にはスリッパに履き替えていたのですが、今回はスリッパの消毒の手間を省くためにスリッパの使用は無しにして、検査台の前にタオルを置いて対処しました。



コロナ禍での開催のためかアリーナへの来場者が極端に少なく、柔整ブースの人の流れもスムーズで今回はとても楽をさせてもらったような気がします。土曜日は2時間、日曜日は6時間の活動でしたが、2日で144名の来場者がありました。そのうち61名の方が再来者でした。さすがに平成16年からの連続来場者は途切れましたが、この状況の中でこれだけの人が来場されたことに逆に驚いています。

黒石地区が「市民のつどい」に参加して今年で19年目になりますが、最初から来場者氏名、地区別、年齢分布等、統計をとっていますが、年齢分布状況は最初からほとんど変わっていません。50歳以上から80歳台が一番多いです。しかし、令和に入ってから若い人も徐々に増えてきています。アリーナ内でイベントをしているせいも、小さい子供を連れた若い夫婦の姿も多くなってきました。骨密度の検査が無くなりフットプリンターとインボディ、そして健康相談だけとなりましたが、健康相談には、真剣に聞き入る来場者もいて、帰り際に「いいことを聞いた来年もまた来る」と言ってくれる人もいて、こちらとしてもとてもやりがいのある言葉を頂いたと思っています。

今年も来場者は少なかったですが、その分一人一人と向き合う時間が多かった気がします。協力頂いた会員の皆様、協賛協力頂いたグローバーのお二人には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。





## 「応急・救護トレーナー活動」派遣一覧

開催日	大会名	開催地	活動者	利用者数
9/18	第51回上北地方中学校体育大会新人大会（柔道競技）	十和田市	四橋 正敏・酒田 正伸	4
10/1	第51回青森県中学校新人柔道大会	五所川原	佐々木智彦・対馬 将晃	11
10/2	第51回青森県中学校新人柔道大会	五所川原	佐々木智彦・対馬 将晃	11
10/9	第27回とわだ駒街道マラソン大会	十和田市	田中 松雄・米田日出喜 四橋 正敏・苫米地一弘 櫻田 陽輔	10
11/12	令和4年度青森県高等学校新人柔道大会	三沢市	四橋 正敏	5
11/13	令和4年度青森県高等学校新人柔道大会	三沢市	酒田 正伸・苧坪健太郎	3
11/20	第39回青森県少年柔道選手権大会	平内町	奈良 功・竹内 公悦	4
11/27	第31回八戸まべちライオンズクラブ杯 三八地区少年柔道親善大会	八戸市	村山 弘典	3
12/4	町制施行80周年記念第37回大間町少年柔道大会	大間町	大内 二郎	0
12/11	第28回上十三地区学童柔道大会	東北町	四橋 正敏・酒田 正伸	1
2/11	第37回全国選抜高等学校相撲大会	弘前市	鶴田 直司	6
2/18	第41回津軽地区少年柔道錬成大会	弘前市	対馬 将晃・西谷 正仁	8
2/19	第6回県南地方学年別少年柔道大会	三沢市	四橋 正敏	5
3/19	第12回斉藤仁旗争奪少年柔道大会	弘前市	対馬 将晃・村山 裕法	16
3/26	第43回全国少年柔道大会青森県予選会	青森市	奈良 功・竹内 公悦	1
4/23	第59回四市三郡七戸桜花柔道大会	七戸町	酒田 正伸	2
4/29	第38回松井杯少年柔道大会	黒石市	後藤 悦祐	7
4/29	第43回金木桜まつり青森県小中学校相撲大会	五所川原	対馬 将晃	0
4/29	令和5年度青森県高等学校春季柔道大会	三沢市	酒田 正伸・山端 祐樹	4
4/30	令和5年度青森県高等学校春季柔道大会	三沢市	酒田 正伸・山端 祐樹	5
4/30	30回青森県中学校春季柔道大会	青森市	奈良 功・竹内 公悦	5
5/3	第60回太素祭奉納柔道大会兼 第45回上十三地区少年柔道大会	十和田市	四橋 正敏	5
6/3	第76回度青森県高等学校総合体育大会柔道競技	つがる市	佐々木智彦・対馬 将晃	4
6/4	第76回度青森県高等学校総合体育大会柔道競技	つがる市	対馬 将晃・松山 裕法	12
6/5	第76回度青森県高等学校総合体育大会柔道競技	つがる市	対馬 将晃	8
6/18	第74回上北地方中学校体育大会夏季大会（柔道競技）	十和田市	四橋 正敏・酒田 正伸	2
7/2	第47回青森県少年柔道大会兼 全日本小学生育成プロジェクト代表選考会	三沢市	四橋 正敏・酒田 正伸	8
7/16	第74回青森県中学校体育大会夏季大会柔道競技	五所川原	高橋 尚裕・西谷 正仁	12
7/17	第74回青森県中学校体育大会夏季大会柔道競技	五所川原	対馬 将晃・西谷 正仁	8
7/16	令和5年度青森県高等学校夏季柔道大会兼 令和5年度国民体育大会柔道競技青森県選手選考会	平内町	谷川 弘・竹内 公悦	13
7/17	第13回県下小学校高山稲荷神社奉納相撲大会	つがる市	松山 裕法	0
7/30	第76回市町村対抗青森県民体育大会 柔道競技	三沢市	酒田 正伸	8
7/30	第16回旭富士杯争奪小・中学校相撲大会	つがる市	対馬 将晃	0
8/14	第58回全日本選抜大学相撲十和田大会	十和田市	相坂 稔	3
8/15	第72回全国高校相撲十和田大会	十和田市	四橋 正敏	6
8/27	第6回宝富士杯・阿武咲杯争奪小中学校相撲大会	中泊町	佐々木智彦	2
8/27	青森県スポーツ少年団柔道大会兼東北大会予選会	十和田市	四橋 正敏・酒田 正伸	6

# 応急・救護トレーナー活動の様子

R5.6.3～5 「第76回青森県高等学校総合体育大会柔道競技」



R5.7.16・17 「第74回青森県中学校体育大会夏季大会柔道競技」



会員の皆様へ

## 応急・救護トレーナー活動の輪を広げよう！！

当会では応急・救護トレーナーを随時募集しています。同じ免許を持つ仲間と一緒に活動してみませんか？まずは見学からでも構いません。ご希望の方は諸大会の開催5日前までに当会へご一報下さい。

※応急・救護トレーナー派遣予定の大会・開催場所（市町村）は毎月の事務局だよりにてお知らせしております。

スポーツ大会・イベント主催者の皆様へ

## 応急・救護トレーナー派遣制度をご活用下さい！！

公益社団法人青森県柔道整復師会では、地域社会貢献活動の一環として、県民の健康増進並びに青少年健全育成のため、会員を県内のスポーツ大会に「応急・救護トレーナー」として派遣しております。

派遣をご希望の場合は、「開催依頼文書」に「大会実施要項」を添付して、大会開催日の1か月前まで郵送にてお申し込み下さるようお願い致します。

- ※ 派遣依頼文書は次ページをコピーしてご利用いただくほか、当会ウェブサイトからもダウンロードできます。
- ※ トレーナー派遣は原則、「土曜日」「日曜日」「祝・祭日」の大会に限ります。  
また、当会の行事と重なる場合や、複数のご依頼が重なった場合等、派遣をお断りする場合がございますのでご了承下さい。
- ※ トレーナーの駐車場の確保等、ご協力をお願いしております。
- ※ 当日、当会会員が救護員として参加していることを開会式・大会パンフレット等でご紹介頂きますとありがたく存じます。

〈詳細については青森県柔道整復師会事務局へお尋ねください〉

令和 年 月 日

公益社団法人青森県柔道整復師会  
応急・救護トレーナー委員会  
会長 三潟 謙 殿

申請者名

㊞

## 応急・救護トレーナーの派遣依頼について

この度開催されます下記大会の出場選手に対し、健康管理指導ならびに応急処置等をしていただきたく、応急・救護トレーナーの派遣をお願いいたします。

### 記

1. 大会名

2. 日時

3. トレーナー集合時間

4. 場所

5. 対象者

6. 派遣希望人数

7. 医師の待機について ※当てはまる方に○をして下さい。

あり ( 名 ) / なし

8. 連絡先 (派遣の有無についてこちらから書面を送付致します。発送先を記載して下さい)

〒

TEL

9. その他 大会要項の添付をお願いします



# やってみよう!! 「健康柔(やわら)体操2018」

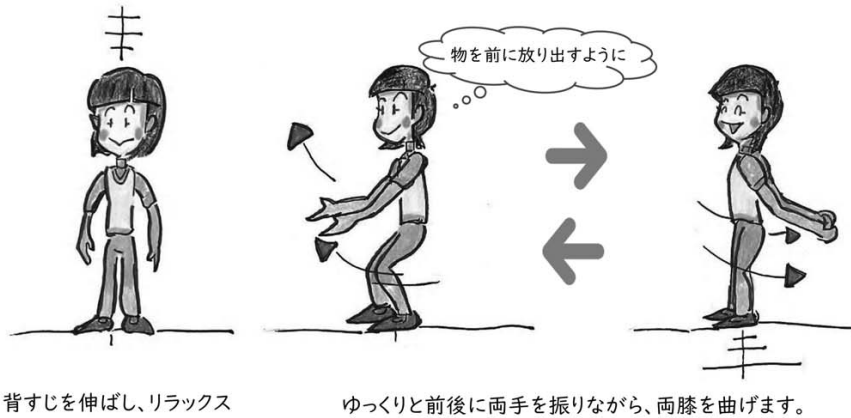
～健康はつくと共に保つもの。やってみましょう健康柔体操～

柔道の形の中でも、体の軸（芯）を作ることはとても重要とされています。軸を作る観点から姿勢を整えていく、高齢者や運動初心者にも簡易で効果のある体操を紹介します。

柔整青森第37～41号にてご紹介していた「健康柔(やわら)体操2013」と合わせて行うとさらに効果が期待できると考えますので、ぜひ一緒に行ってみて下さい。

## ＝ 振り子体操Ⅰ ＝

**効果** 誰でもできる簡単な運動の連続によって、全身の筋肉の緊張をほぐし、血行を改善して代謝を促進します。



## ＝ 振り子体操Ⅱ ＝

**効果** 振り子運動Ⅰの効果に、背伸びをして踵から降りた際の下肢から背骨に抜けるような刺激が加わります。この軽い刺激が骨へ良いストレスとなり、骨粗鬆症の予防になります。

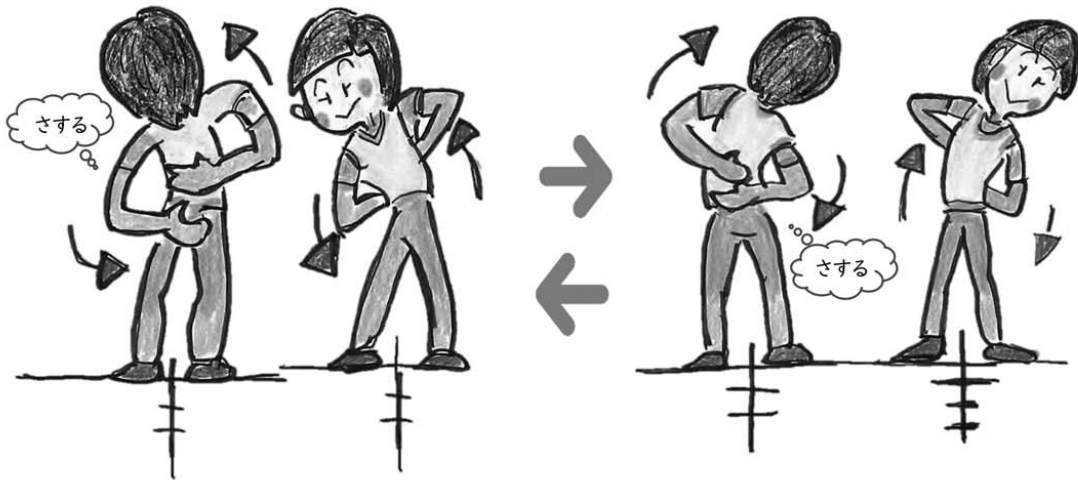


## ＝ くゆらせ体操 ＝

**効果** 背骨を左右にくゆらすことで背中の中の筋肉の緊張をとり、バランスを調整します。  
また、手のひらで背中をさすりあうので、血流を促進して柔軟性を高めます。



背すじの軸をイメージ



背骨を中心に、上体を左右にくゆらせながら  
手のひらで背中の中の“さすり上げ”“さすり下げ”を繰り返します。

## = 3ポーズ体操 =

**効果** 3ポーズ体操は肩甲骨にかかわる筋肉すべてに働きかけます。頸・肩・背中の調整を図り、血行を改善して凝りをほぐします。  
 プラスワンのポーズは、さらに強度が上がるバランス運動です。

### ポーズ①



自然な呼吸で

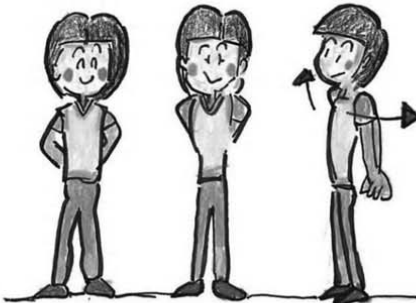
プラスワン



片足を踏み出し、上体をそらせる!!

腕の前で両手を組み、人差し指を立てます。  
 かかをつけたまま、両手をゆっくりと引き上げます。  
 肩甲骨を上げて、胸郭全体を引き上げます。

### ポーズ②



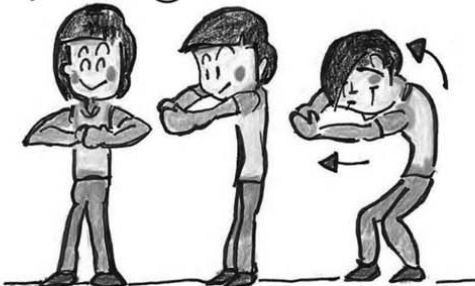
プラスワン



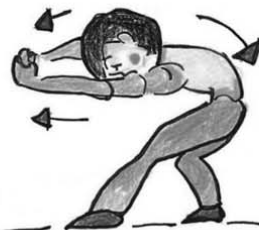
片足を踏み出して、前に体重をかける!!

両手を後ろで組み、肘を伸ばした状態で  
 両肩を後ろに引き胸を張り、肩甲骨を近づけます。

### ポーズ③



プラスワン



片足を後ろに引き、上体を前に倒し背中を伸ばす!!

両手を胸の前で組み、前に出しながら目線を足元に落とし、  
 あごを引きます。背中を丸め、肩甲骨を開きます。

## ＝ コアステップ体操 ＝

**効果** 背筋を意識して行うことで、美しい姿勢を作ります。  
サイドウエストへのストレッチ効果で、肋間筋・鋸筋・腹斜筋群に働きかけウエストを引き締めます。



顔は正面を向いたまま、  
身体を左右にひねります。



次は顔も一緒に、体の軸を  
中心として左右に回します。



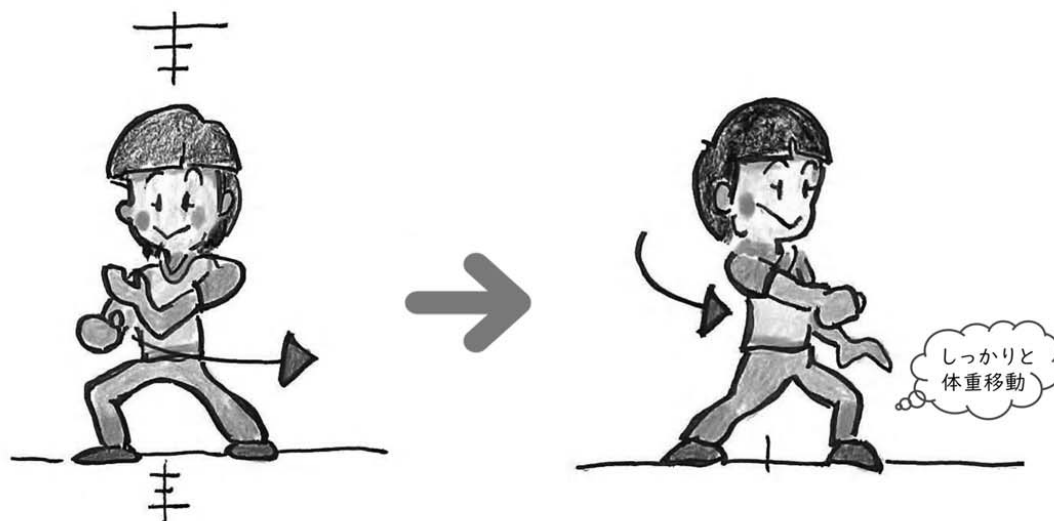
最後に軸の動きを取り入れて  
「ステップウォーク」をします。



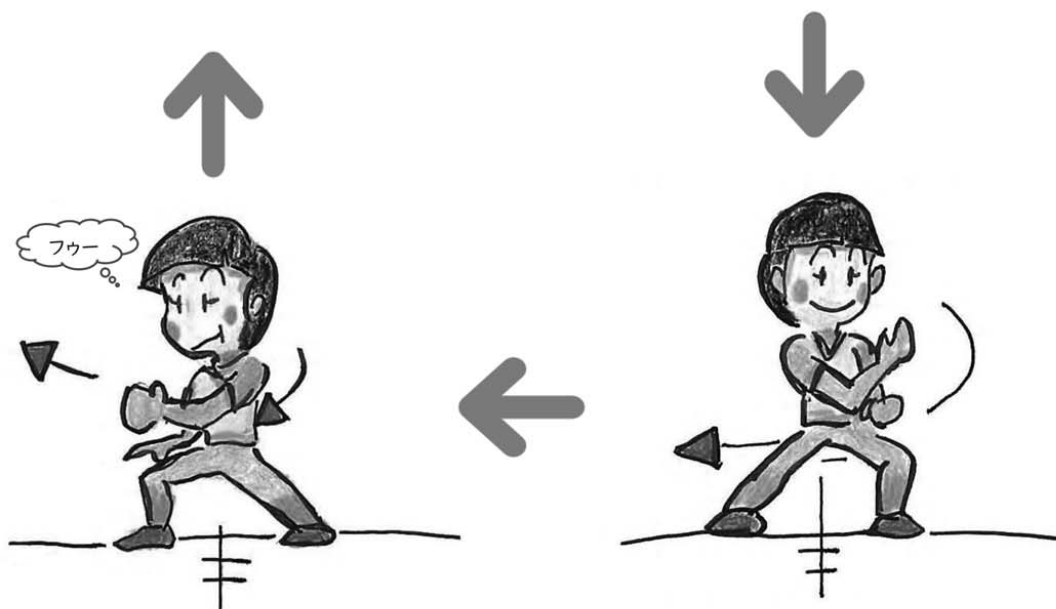


## = ひねり当て =

**効果** こぶしを作り、左右に体重を移動することで下肢の筋力を高めます。  
姿勢を維持することで股関節周囲の筋力強化をします。  
また、こぶしを打ち出す動作はストレス解消に役立ちます。



右から左へ体重を移しながら、息を吐いて右こぶしを打ち出します。  
軸をひねるような行います。



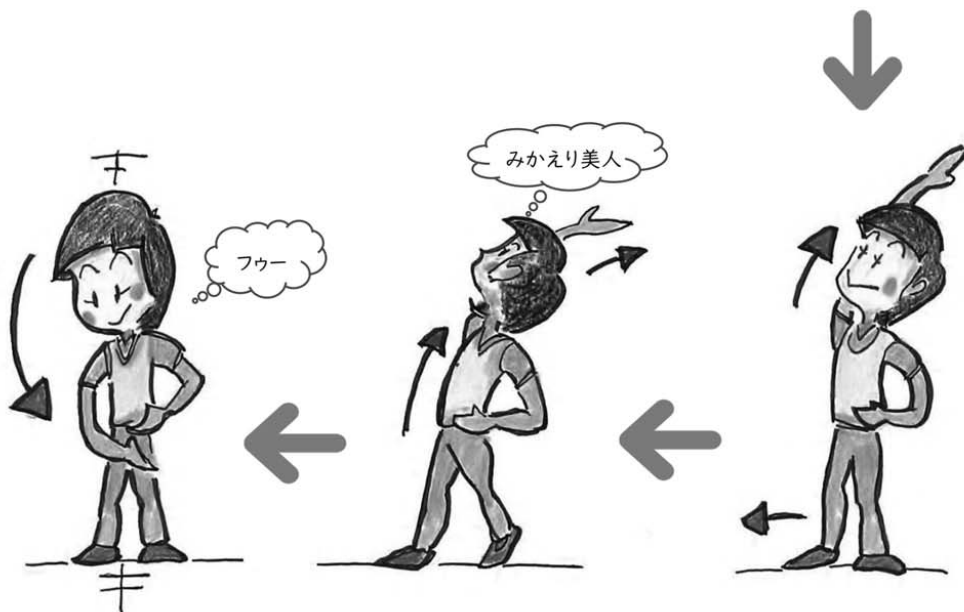
今度は左から右へ体重を移しながら、息を吐いて左こぶしを打ち出します。  
こちらも軸をひねるような行います。

## ＝ 呼吸法くみかえり美人体操 ＝

**効果** ゆったりとした呼吸を繰り返すことで、自律神経の安定を図ります。  
背筋を伸ばし、ひねることでより姿勢が矯正され、美しい姿勢を獲得できます。



片方の手を腰にあて、もう片方の手を前から上げていきます。



息を吐きながら元に戻ります。

息を吸いながら片足を踏み出していき、身体をさらに後ろへ開きます。

## 新入会員の抱負



八戸地区 美美接骨院 柳瀬 大伸

(令和4年9月1日入会)

この度は、公益社団法人青森県柔道整復師会の正会員として入会させて頂き誠に有難う御座います。

柔道整復師として職務に責任を持ち、微力ながら今まで学んできた技術と経験を活かせる様、地域の方々のお役に立てればと思っています。

まだまだ未熟で至らぬ所が多々あると思います。今後とも御指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



八戸地区 ぬまだて中央接骨院 中村 忍

(令和5年1月6日入会)

1月より公益社団法人青森県柔道整復師会の正会員として入会させていただきました中村 忍です。

医療界における柔道整復師の責務を今一度考え、先輩方の築き上げてきた伝統を重んじ、更なる進化を遂げられるように日々精進して参ります。

まだまだ未熟ではありますが、柔道整復師としての誇りを持ち地域に密着した接骨院を目指して参りますので今後ともご指導の程よろしくお願ひいたします。



三沢地区 柳瀬接骨院 柳瀬 隆興

(令和5年4月1日入会)

この度4月より、公益社団法人青森県柔道整復師会の正会員として入会させて頂きました柳瀬隆興です。

柔道整復師の資格を取得してから今までの経験と技術を生かせるよう更に努力を重ねていきたいと思っています。

未だ至らぬ点も多々あると思いますが、今後とも御指導御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

# 編集後記

この度、「柔整青森44号」の完成にあたり会員各位、皆様方の投稿へのご協力頂き厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、約4年ほど当会事業が出来ませんでした。コロナ禍に加え、ロシア・ウクライナ紛争により世界経済が逼迫、円安が進んだことにより物価やガソリン燃料等が高騰し、国民の生活に大打撃を与えています。

今後も、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら公益事業等を行い当広報誌を通して、的確かつ有益な情報発信出来る様努めていきたいと思っております。

会員の皆様からのご投稿、意見や情報をよろしくお願いいたします。

令和5年10月吉日

広報部長 吉田 功

## 編集担当

広報部長 吉田 功

広報副部長 安井 巧

会員数	日 整(全 国)	14,149名 (令和5年9月末現在)
	東北ブロック会	1,104名 (令和5年9月末現在)
	青森県(準会員含)	245名 (令和5年9月末現在)



---

---

## 柔整青森第44号

令和5年11月30日

発行者 公益社団法人 青森県柔道整復師会  
会長 三 湯 謙  
〒030-0843 青森市大字浜田字豊田32番地11号  
TEL (017) 774-2441  
FAX (017) 776-3970  
編集責任者 広報部長 吉 田 功  
印刷 協同印刷工業株式会社

---

---

●青森花火大会・ねぶた海上運行●







戦国武士華  
前田慶次  
千景作敬作

DHC

JP 日本郵政グループ

日本医  
学大  
学  
2

サンロード青森

